

伊達赤十字病院と住民の皆様を繋ぐ情報誌

2021年1月発行
伊達赤十字病院広報誌

だてクロス

総合病院伊達赤十字病院広報誌

＜特集＞『ストーマについて』 P2～P4



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
伊達赤十字病院

ご自由にお持ち
帰りください

Please take it home freely.

Vol.11

＜特集＞

『ストーマについて』

『ストーマについて』



Doctor Profile

行部 洋(ぎょうぶ ひろし) 第二外科部長

日本外科学会専門医

日本消化器外科学会専門医

日本消化器病学会専門医

Infection Control Doctor

検診マンモグラフィ読影認定医

難病指定医

ストーマって？

多くの方にとってストーマという言葉はあまり馴染みがないものではないでしょうか。これは手術によっておなかに作られた、便や尿の排泄口のことです。ストーマには人工肛門や人工膀胱があり、腸や尿管をおなかの外に出しています。ストーマを持っている方をオストメイトといい、全国に20万人ほどいると言われています。

当院では（泌尿器科が休診中のため）主として腸の出口である人工肛門を扱っています。これには持ち上げた腸の部位により、小腸ストーマ（イレオストミー）と結腸ストーマ（コロストミー）とがあります。また、ずっとその状態のままか、後日元に戻す手術を予定しているのかという観点で、永久ストーマと一時的ストーマとに分けられます。永久ストーマの場合は身体障害として認定され行政サービスが受けられます。



原因疾患

人工肛門を造設する原因疾患として多いのは、肛門の近くの直腸癌が挙げられます。近年は手術機械の進歩により肛門にかなり近い癌でも肛門を温存できるようになっていますが、肛門にかかっていたりすぐ近くまで達している進行癌などは肛門も一緒に切除しなければならず人工肛門を作ることになります。その他、潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患も病状によっては、また何らかの理由で消化管穿孔や閉塞などをきたした場合に、人工肛門を作ることがあります。

ストーマからの排泄

ストーマには肛門のような括約筋がないので、出てくるのを我慢することはできません。したがって装具（専用の袋）を用いて排泄物を管理することになります。この装具も現在は多種多様の製品が、メーカーから出ています。

ストーマの合併症

装具の付け替えや排泄がうまくいっているようであれば問題はありませんが、うまくいかない場合もあります。ストーマの合併症としては、手術後早期に起きる浮腫、血流障害、壊死、粘膜皮膚接合部離開や、手術後しばらく経ってから生じる狭窄、傍ストーマヘルニア、脱出、陥没などがあります。状況によっては再度手術を行い、ストーマを造り替えなければいけないこともあります。

また、どのような時期にも生じることとして、ストーマ周囲のスキントラブルが挙げられます。ストーマの形状や周囲皮膚の状態で装具が安定して貼れないことがあります。また初めはうまく行っても年数の経過により体型が変化し、装具が合わなくなることがあります。そういった場合、装具と皮膚との間に排泄物が潜り込み、皮膚のびらんや潰瘍を生じてしまいます。

困っていませんか？

平成31年に日本オストミー協会が公表した調査結果では、ストーマをもつ方の術後経過年数は、20年以上が全体の35%を占めていました。手術してから時間が経つと原因疾患での通院が終了となったり、転居などにより医療機関での診察を受けていない方も多く居ると思われます。問題なく過ごせていればいいのですが、少しでもご自身のストーマ（あるいは介護している方のストーマ）に関して不安を抱えているようであれば、当院ではストーマ外来を開設していますのでお気軽にかかってみてください。認定看護師も二名が従事しています。ストーマに関して困っている方々の、とりわけ誰にも相談できずひとりで悩まれているオストメイトは是非とも、ご来院をお待ちしています。

第二外科部長 行部 洋



皮膚・排泄ケア認定看護師の ご紹介

ストーマ造設術は、患者様の人生にとって非常に衝撃的な出来事です。手術を告知されたとき、はじめて自分のおなかに造設されたストーマを見たとき、排泄行為を人に委ねることへの羞恥心、難しいストーマケアの学習など、病気の不安を抱えながら、並行していくつもの困難に直面するため、その衝撃の大きさは計り知れません。

私たち看護師には、そのような患者様の心理の変化に寄り添い、ストーマを受け入れて「自分らしく生きること」ができるようができるように支援していく役割があります。

ストーマケアは、患者様がストーマ造設について告げられたときから始まるため、入院の前からオリエンテーションや精神的な支援をして退院後まで継続して関わっていきます。病棟にはストーマリハビリテーションの研修を修了した看護師が多数おり、入院中は質の高いケアを提供することができます。

これまで多くの患者様のケアに携わってきましたが、どの患者様も、生きるためには欠かせないのだ、と懸命にストーマケアを学習し回復しようとする姿勢を見せてくれます。時に弱音を吐いたとしても「社会で普通に暮らしていきたい」「自分らしく生きたい」と努力される姿は本当に尊敬しますし、苦難を乗り越えた力強さを感じます。そして無事社会復帰された姿を拝見することはとても嬉しく、私自身の励みにもなっています。

超高齢化が進む現在、当院でも高齢のオストメイトの方が多くいます。自分で十分にケアできない場合は、ご家族に協力を依頼したり、訪問看護や介護サービスなどを利用することで、在宅でも安心して療養できるように多職種が協力し入院中から環境を整えていきます。また、セルフケアの習得や療養環境の調整に時間が必要な場合は、地域包括ケア病棟で継続して支援を受けることができます。

ストーマ外来

退院されたオストメイトの方が普通の生活を目指し、それを維持できるように個別に専門的な支援を行っていく場がストーマ外来です。当院では、患者様がプライバシーを確保し、より細やかなケアを受けられるよう、1人30分の時間をとって完全予約制で行っています。ご本人だけではなく、介護するご家族や入所者のケアをする施設職員、訪問看護ステーションなどからの相談も承ります。胆振西部の相談窓口として幅広く対応していきたいと考えております。

また、当院で手術をしていないという方でも受診は可能です。行部医師の話にもありましたが、病気の治療が終了しているとストーマケアを相談する窓口もなくなってしまうことがあります。ストーマ外来ではケアについての相談の他、ストーマ用品に関する新しい情報を得たり、万が一の災害に備えてネットワークを作っておくこともできます。現在特に困っていることがないという方でも、ご自分のストーマケアを見直してみる機会になると思いますので、ぜひご連絡ください。

現在外来は月2回のみですが、緊急時は外科外来へ連絡してもらうことで受診日の調整ができますので、装具漏れや皮膚のトラブルなどで困った時は、遠慮せず電話でご相談ください。



ストーマ外来担当看護師 三橋 谷口

外来診療一覧

		月	火	水	木	金
内科・総合内科	午前	宮 崎	小 柴	宮 崎	小 柴	宮 崎・出張医※
	午後	予約のみ	小 野13:00～15:00	予約のみ	予約のみ	小 野13:00～15:00
消化器科	午前	櫻 井・大 岩	久 居	櫻 井・坂 野	久 居・大 岩	久 居・坂 野
	午後	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ
緩和ケア外来＜完全予約制＞	午後	—	岡 本14:00～16:00	—	—	—
神経内科	午前	松 岡	松 岡	井 上	松 岡※ 安 喰※ 10:00～11:00	松 岡 佐久嶋※
	午後	＜検査＞	山 田（新患のみ） 13:00～15:00	—	松 岡	佐久嶋※
もの忘れ・頭痛外来＜完全予約制＞	午前 午後	松 岡（午前） 頭痛外来	松 岡（午前） 頭痛外来	—	松 岡（午後） 頭痛外来	佐久嶋※ （もの忘れ外来）
循環器科＜完全予約制＞	午前	武 智（予約のみ） 出張医	出張医	大 村	大 村	出張医
	午後	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ
禁煙外来＜完全予約制＞	午後	—	—	—	—	武 智/大 村※ 13:30～16:00
外科	午前	川 崎・吉 田	行 部	川 崎	行 部	吉 田
	午後	＜手 術＞	＜手 術＞	＜手 術＞	＜手 術＞	＜手 術＞
ストーマ外来＜完全予約制＞	午後	—	行 部※ 14:00～16:00	—	—	—
リンパ浮腫ケア外来＜完全予約制＞ 私費診療	午後	—	—	認定看護師・看護師 13:30～16:00	—	—
整形外科＜完全予約制＞	午前	—	江 崎	—	森	小 澤
小児科	午前	林（英）	林（英）	林（英）	林（英）	林（英）
	午後	田 原 乳児健診 13:30～15:00 林（英） 一般 15:00～16:00	田 原 予防接種のみ 13:30～15:30	林（英） （非感染症外来） 完全予約制 ＜検査・手術＞	林（英） （非感染症外来） 完全予約制	林（英） 13:30～15:30
産婦人科＜完全予約制＞	午前	産科）田熊 婦人科）林（博）	産科）鴨井 婦人科）林（博）	産科）林（博） 婦人科）田熊	田 熊	田 熊/林（博） 交代診療
	午後	—	—	＜手 術＞	＜手 術＞	—
精神神経科 ＜初診に限り完全予約制＞	午前	—	—	早川	早川	出張医
	午後	—	—	予約のみ	予約のみ	予約のみ
もの忘れ外来＜完全予約制＞	午後	—	早川※13:30～15:00	—	—	—
麻酔科	午前	立川 9:00～10:30	立川 9:00～10:30	—	立川 9:00～10:30	立川 9:00～10:30
	午後	＜手術＞	＜手術＞	＜手術＞	＜手術＞	＜手術＞
皮膚科	午前	—	出張医受付11:00まで	—	出張医受付11:00まで	出張医受付11:00まで
耳鼻咽喉科	午前	長内	長内	長内	長内	長内
	午後	＜検査・手術＞	—	長内13:30～15:30	＜検査・手術＞	長内13:30～15:30
甲状腺専門外来＜完全予約制＞	午後	—	—	長内13:30～15:30	—	長内13:30～15:30
眼科	午前	出張医 10:00～12:30	—	出張医 10:00～12:30	—	出張医 9:00～11:00
	午後	＜手術＞	＜検査＞	＜検査＞	＜検査＞	＜検査＞

外来受診案内

- ◆初診・・・医事課前記載台にて診療申込書にご記入の上、3番窓口にお越しください。紹介状をお持ちの方は一緒にご提出ください。
- ◆再診・・・正面玄関再来受付機に診察券を入れ受付してください。保険証確認が必要な方、診察券に不具合のある方は医事課窓口にお越しください。
- ◆休診日・・・土・日・祝祭日・年末年始・開院記念日（8/28）
- ◆上記一覧に診療日と記載されている医師でも、都合により休診・代診となることがございます。
- ◆※印のついている医師については、月毎に診療日が異なります。
- ◆この一覧は医師の都合、診療体制の変更により急遽変わることがございます。
- ◆受付時間 午前 8:25～11:00 午後 12:45～15:00 曜日、診療科により受付時間は異なります。

お問合せ先：医事課外来窓口
☎ 0142-23-2211（内線214）

Web面会始めました

長引くコロナ禍の影響により、病棟の面会禁止期間が長くなっております。患者さんご家族の方も入院期間中、お互いのお顔を見ることができず、ただでさえツライ入院生活が余計ツライものになっていると思います。

このような状況下において、少しでも患者さん、ご家族の方が安心して療養していただける環境を作るべく、タブレット端末を利用したWeb面会システムを導入いたしました。

【対応日時】毎週 月曜日～金曜日 午後2時～午後3時まで

【面会時間】1回につき10分程度

【予約申込】医療相談室 0142-23-2211（代表）※交換に「医療相談室へ」とお伝えください。

ご利用方法は、事前に医療相談室に電話を入れ予約を取っていただき、指定日時に医療相談室までお越しいただき、患者さんのお部屋と繋いだタブレット端末同士で会話をさせていただきます。



当院の新型コロナウイルス対策

当院では患者さんに安心して受診していただけるよう、以下の通り新型コロナウイルス感染防止対策を行っています。皆様にはご不便をおかけしますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【感染対策の取組として】

- 1 来院時正面玄関でマスクの着用と体温測定・手指衛生の協力をお願いしております。（※1）
- 2 症状のある方は事前に連絡をいただき専用の診察室を使用しており（※2）、一般の受診者とは交差しないよう配慮しております。（小児科は外来にて入口を分けております（※3、4））
- 3 原則面会はお断りしております。
- 4 全職員勤務前に体温測定・症状の確認を行っております。
- 5 院内感染対策チームが、病院全体のラウンドを行い感染対策が確実に行われているか確認しております。

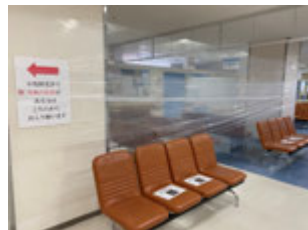
※1



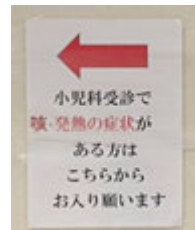
※2



※3



※4



精神神経科の休止について

当院の精神神経科は1月中旬をもって入院診療を、3月末をもって外来診療を休止することになりました。これに伴い精神科デイケア、精神科による物忘れ外来等も併せて休止となります事をお知らせいたします。

入院中の患者様については、ご本人、ご家族の了解の下、近隣またはご希望の医療機関に転院できるよう調整し、ほぼ全ての患者様の転院が完了してお

ります。また、外来の患者様についても、なるべくご本人のご希望に沿った形で治療継続できるよう、地域医療連携室、医療相談室が窓口となり、近医を中心に紹介させていただいております。

皆様方にはご不便、ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

病 院 長